

【組合の概要】

長生郡市土砂採取業協同組合は、昭和50年10月、長生地域の土砂採取業者が共同購買事業、教育情報事業、土砂採取後の採取場の跡地整備を目的として設立された。以来、組合員一致団結して地域の自然環境保護と組合員企業の体質改善、経営の合理化、近代化に取り組んできた。当組合3代目の理事長である三枝巖氏は、昭和62年から組合執行部として活躍されており、現在任期は11期目である。

【理事長会社概要】

株式会社三枝組は、三枝巖理事長のお父様が、大正15年に設立した会社で、今年で創業81年になる。会社の事業内容は総合建設業であり、JR協力業者でもある。長生郡市地域での道路工事現場では必ずといっていいほど見かける会社名なので、ご存知の方も多いと思う。総合建設業の他、生ゴミ処理機の販売、産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬、一般貨物自動車運送事業、土木建築資材及び機械器具の販売並びにリース、建売住宅の建設販売、不動産売買、賃貸、仲介管理、損害保険代理業と関連する業務を幅広く取り扱っている。平成13年には県内5番目にISO9001を取得している。受注先は官公庁が9割、バブル期に20億円

長生郡市土砂採取業協同組合 三枝巖理事長

◎さえぐさ・いわお 昭和43年国士館大学卒業と同時に(株)三枝組入社、同56年代表取締役社長、平成18年取締役会長に就任。昭和62年長生郡市土砂採取業協同組合理事長、平成16年千葉県土砂採取業協同組合連合会理事長、本会理事。62歳。



長生郡市土砂採取業協同組合

所在地 茂原市早野1056-3
 代表者 三枝 巖
 組合員数 21名 出資金 420万円
 職員数 1名

環境保護への取り組みと 確かな仕事で堅実経営

あった年商は現在10億円に減少しているとのことであるが、厳しい建設業界にあって受注競争が激化している中、長生地域トップクラスの取扱額である。

【三枝巖理事長の横顔】

三枝理事長は、大学4年在学時にお父様が交通事故に遭ってしまったため、他の就職先を考える暇もなく、

卒業と同時に三枝組に入社したとのことである。2代目の社長であり、現在は甥の三枝輝久氏が3代目に就任している。三枝理事長は、現在千葉県土砂事業協同組合連合会の理事長でもある。土砂採取業界のトピックスとしては、

羽田空港の再拡張事業があり、千葉県からの山砂の搬入(3カ年事業)が決定し、一部地区に明るい兆しが見えてきた。しかし、業界としては、組合員の健全経営と同時に資源の保護、環境

保全をも考えていかななくてはならず、やらなくてはならないことが山積している。

組合活動以外では、地元法人会活動にも積極的に参加しており、昭和62年から現在まで20年に亘り役員として活躍しており、現在、茂原法人会副会長である。

趣味を伺ったところ、舟釣り、ゴルフ、旅行とのこと、最近ではチベットへ旅行されたとか。舟釣りも釣るだけでなく釣った獲物を捌くのはプロ級。最後に座右の名をお伺いしたところ、「やった仕事をみてもらって、次の仕事をもらおう」とのこと、何事にも妥協を許さない姿勢が厳しい時代に会社を存続させる秘訣なのだと感じた。

